

広報

No. 163

くらみ

昭和62年1月15日

発行・編集 国見町企画課

おまな内容

迎春	2
ふるさとの文化財	5
おしらせ	6~7
公民館だより	8~9
わだい	10

あけましておめでとうございます



'87

1月

“明けゆく街並み”

(役場庁舎屋上から)

迎春



活力ある明るい町づくり

国見町長職務代理者国見町助役

八 島 忠 雄

謹んで新春のお喜びを申し上げます。
 希望に満ちた昭和六十二年の新年を迎え、皆様方の御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、町長が夏以来入院療養中のため大変ご迷惑をお掛けいたしました。皆様方の町政各般にわたる温いご支援とご協力に對し、誠に感謝を申し上げます。幸い町政も順調に推移し、明るい新年を迎えることができましたことは、まことにご同慶に堪えない次第であります。

今年も昨年同様地方財政を取りまく状況は厳しく、一層の改革をせまられるなか、町民各位の生活安定と福祉の向上を図らなければならないと考えます。

なお、厳しい財政のなかで、ご協力をいただいております方には、衷心より敬意を表します。

六十二年度予算の政府案は、伸率〇・一％という超緊縮型となっており、その概要は極めて厳しい内容となっております。

町の予算におきましても財源の有効配分を旨として、最大の効果を上げ、活力ある明るい町づくりを推し進め、財政の健全化を図りたいと存じます。

昨年度集中配分をしておりました県北中学校も立派に完成をみましたので、本年の重点目標といたしました。転作目標面積が約四〇ha増しの一四〇haとなり、水田農業確立対策事業を中心に、生活道の整備を始めとし、教育施設と社会体育施設の整備、浄化センター関連であります。上水道問題を含めた各種事業、そして、土地開発公社に委託造成を致しました宮部住宅団地の分譲、また、科研製薬工場進出断念による他企業の誘致などの各種事業が山積みしておりますが、社会経済情勢の変化に即応して、行政の内容と運営の方法を改善し、町民奉仕の立場に立って、明るく希望のもてる町政に精進いたす覚悟であります。

どうぞ町民各位の一層のご支援とごべんたつを賜りますようお願い申し上げます。年頭のこあいさつといたします。

明けまして

おめでとぅ

ごさいます

今年もよろしく

お願い

申し上げます

町長	菊地 政治
助役	八島 忠雄
収入役	武田 喜男
教育長	蓬田 英夫
総務課長	吉田 貞造
住民課長	松浦 幸雄
保健課長	大内 正美
税務課長	渡辺 等
建設課長	鈴木 捷治
産業課長	佐野 貞治
水道課長	大浪 敏男
下水道課長	須田 善治
公民館長	井砂 研二
企画課長	原田 金藏
外 職	職員 一同

仲野廣二さん 鈴木 豊さん に表彰状



▲仲野廣二さん



▲鈴木豊さん

の向上推進に尽力されたことが認められ表彰されました。
また、献血推進功労者血液センター所長から感謝状の贈呈も行われ、国見町商工会と半沢豊さん（宮町南）に、献血推進に尽力された功績が認められ、感謝状が贈呈されました。

楽しく

クリスマス会

藤田保育所

♪あかいほうしをかぶってる
サンタジイサン！まだこないか
とおいゆきみちろさむいだろ
しずかにするとじきこえてくる
よかりん・りん・ソリのすずの
ねがが

保育参観をかねた藤田保育所恒例のクリスマス遊戯会が、十二月二十三日開催されました。幼い子供たちにとっても楽しみに、そして本当にいと信じきっているサンタクロースが登場すると、子供たちのびっくりした顔・顔・顔……ことばもなくポツカリ口をあけて見つめて

十二月十二日、保原町民センターで保原保健所地区衛生組織大会が開かれました。
席上、保原保健所地区衛生組織功労者表彰が行われ、国見町から仲野廣二さん（泉田中）と鈴木豊さん（錦町）の二人が、長年の保健委員として公衆衛生

いました。

そのあとプログラムに入り、うたや一歳から三歳児までの遊戯「二ヤンタイム」や三歳〜六歳児までのリズム劇「白雪姫」などを発表し、子供たちは、練習した成果を舞台せまじと展開、つめかけたお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんから大きな拍手を受けていました。



▲みんなでたのしいクリスマス



▲リズム劇「白雪姫」

歳時記

宝船

「なかきよのおのねぶりのみなめざめ、なみのりぶねのおとのよきかな」この歌は、上から読んで、下から読んでも同じですね。こういうのを回文歌と言います。
江戸時代には、良い初夢を見るようにと、宝船の絵と、この歌を書いた紙を枕の下に置いて寝ました。
正月には宝船売りが、「お宝、お宝」と言いながら絵を売り歩きました。明治時代になってもこの風習があったようですが、多くは、七福神が乗っていました。

宝船には、米俵や財宝が乗っているだけのものもありますが、多くは、七福神が乗っていました。
七福神とは恵比寿、大黒天、弁財天、毘沙門天、布袋、福祿寿、寿老人をいいます。面白いのは、この顔ぶれば、神さまと仏さまがまざっていることです。

最近では宝船の絵を枕の下に置く風習はすたれましたが、正月の七福神もうでは盛んです。この時もうでる所が、神社と寺と両方まざっています。しかも、たとえば大黒天が神社に祭られていたり、寺にありたりするのです。町人の信仰のおおらかさなので、仰のそれと、七福神のふるさと、もインド、中国、日本とまちまちです。国際化のさかげみたくないものですね。
ところで、一九八七年は国際連合で決議された「国際居住年」です。西暦二〇〇〇年に向けて、世界各国の居住環境の改善をすすめていこうというが狙いです。日本は、開発途上国の居住問題の解決に協力すると同時に、日本の居住環境の向上にも力を入れなければなりません。



永

あなたの水道は 漏れていませんか？



水道漏水は、貴重な水資源を失うばかりでなく、多額の水道料金として家計を圧迫します。このような負担を少なくするため、半月に一度は漏水のチェックをしましょう。

「漏水のチェックポイント」

まず、全部の給水栓（蛇口）、ボイラー、水洗トイレのバルブを止め、メーターにあるパイロットマークが回っているか見て



パイロットマーク

ください。

回っていれば漏水していますので、ただちに町の水道工事指定店へ修理を依頼してください。

「水道管が凍ったとき」

一、凍って水が出ないとき
凍ったと思われる部分に布やタオルなどを巻きつけ、ヌルヌル湯を長い時間かける。
急にかけるのと破裂の恐れがありますので注意してください。

二、水道管が破裂したとき

元栓をとめる。止めることのできないときは、布などを巻きつけ水が散らないようにして町の指定水道工事指定店へ修理を依頼してください。
※修理に要した費用は、需要者の皆さんにご負担していただくこととなりますので、十分な管理をお願いします。

不動産登記制度百周年記念行事「合同登記相談所」の開設のお知らせ

土地や建物などの不動産に関する権利を保護するための不動産登記制度は、昭和六十二年二月一日をもって百周年を迎えます。

福島地方法務局では、これを機に、福島県司法書士会及び福島県土地家屋調査士会との共催で、合同登記相談所を開設することになりました。

登記に関してわからないことや、困りごとがありましたら、近くの相談所でお気軽にご相談ください。相談には、法務局職員と司法書士及び土地家屋調査士会員があたり、秘密は厳守します。

なお、くわしくは近くの法務局または支局出張所におたずねください。

記

- 一、開設日時
昭和六十二年二月二十六日
午前十時から午後三時
- 二、開設場所
福島市 中合アパート七階
特設会場

※相談はすべて無料です。

身近にある野草・薬草

③1

オランダガラシ (クレソン)



下部から白いひげ根を出し、草丈が50cmぐらいいまで伸びます。葉は互生し、奇数羽状に分裂しています。春、茎の先に十字状の白い花を密生します。植物体には毛がなく、なめらか。

▼薬用▲

必要時に青葉を採取、水洗いして用います。また、全草を水洗いして日干しし、よく乾燥したものを蓄えます。

消化促進に、辛みのある新鮮な葉をこまかく刻み、茶さじに軽く一杯分くらいを、そのまま朝食事に食します。青汁にして飲んでもいいです。

利尿に、乾燥葉を一日量5〜10グラム、水400ccから半量になるまで煎じ、三回に分けて服用。※別に有害成分を含んでいるわけではないですが、生葉、乾燥とも多食しないこと。

▼料理▲

つめたくて軽くちぎれるかたさのところからつみとります。

一種の香りや辛みがあるので、その味を生かす料理に使います。生食できるので、よく洗ってサラダ、料理のつけ合わせ、漬物に使います。ゆでたものは、おひたし、あえ物、油いため、煮びたし、汁物の青みなどに用います。揚げ物にしてもおいしいです。(山野草カラー百科から)

ヨーロッパ原産で、明治初年に野国に入り、全国各地の清流に野生化している多年草。
明治のころ、西洋料理、特にビフテキのつまのため、高級洋菜として輸入され、調理室のごみといっしょに捨てられたのが、旺盛な繁殖力によって、細流などに流れて繁殖し、あちこちに広まったものです。

ふるさとの文化財

34

内谷道場跡

菊池利雄



▲道場山と観音像

されている。

天文二十二年（一五五三）正月、伊達晴宗が天文の乱の戦功として白石弥平兵衛に与えた加恩地の中に、（前略）伊達中郡山形縣新正覚院のこらず、同郡内谷道場分（後略）（山形縣新正覚院）がみられ、内谷郷にはこの時期佛教修行の場としての道場寺が存在していたことが知られる。

その所在地は道場山から小門先の堤（内谷郷）にかけての地で、小門先はこの道場の門前を指した地名であろう。

小門先ノ堤の南西百餘の地には、阿弥陀堂があり（鴨田氏）本尊佛は後世の作とみられるが、高さが一尺五寸（約四十五センチ）ほどの素朴で荒削りな、木造阿弥陀如来立像が安置されており、古くはこの辺りに住む鴨田氏一族によって信奉されていたとの伝えもある。その後阿弥陀堂は鴨田清作氏宅の後地、ついで自在院などに移るが、のち再びもとの地に移築されて現在にいたっている。

浄土系（浄土宗）寺院の本尊佛は、阿弥陀如来であり、道場は真宗や時宗寺院の別名として用いられていることから、西内谷の道場山・小門先の地名と、阿弥陀堂の存在は、前記の史料を裏付けるもので、中世末期に

瀧川の支流である矢木沢川は、県境山嶺の大峠南麓に流れを発し、この川沿いに西内谷の集落が塊村状に分布をみているが、流域の左岸には道場山、小門先ノ堤があって、住時このあたりには寺院があったとの伝えが残

おける真宗教団・伊達門徒の存在が想定される。天文の乱においては伊達種宗方に加担したため、道場は晴宗によって所領の没収をうけ門徒の勢力は衰微していったとみられる。

大正十二年この道場跡の付近に住んでおられた赤坂善次郎氏（赤坂善次郎）は、自宅近くの畑から高さ七十五センチ、幅十六センチの長さ十六センチの金銅製の聖観音立像一軀を、また昭和の初め頃には鴨田清作氏が小門先ノ堤北側の、矢木沢二番地の畑地を底掘中、火災にかかった跡がみられる金銅製の小佛像四軀（内谷郷は薩摩、他二を発掘している。福は立像で四天王像が）を発掘している。この小佛像は念持佛あるいは山伏や週国行者が背負う箱笈に安置する愛佛ともみられ、諸佛の守護神とされる四天王が含まれていることから、密教系（天台、真言）の佛像であり、浄土真宗の寺院とみられる道場との関係は明らかでないが、道場が創設される前におけるこの地は密教系の修行場であったことも考えられよう。

この村の南部を流れる行歩川は、別名が御殿川とも呼ばれるなど、この地域には宗教関係の遺跡や地名が多く残されており今後の詳しい調査が待たれる。

参考文献 国見町史一巻

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金

歳末たすけあい募金

ともに目標額達成

百二十五万七百七十三円

達成率一〇四・四%

昭和六十一年十月一日から十二月三十一日まで実施してまいりました赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金は、町民皆さんの深いご理解とご協力によりまして、目標額を達成することができました。

厚くお礼申し上げます。

赤い羽根共同募金

◆町民の皆さんから 百七万七千七百五十円

◆森江野小学校児童会の皆さんから 五千円

◆藤田小学校児童会 一万五千円

◆JR C の皆さんから 九千四百九十八円

◆国見町役場職員の皆さんから 歳末たすけあい募金

◆町民の皆さんから 百二十一万九百五十七円

◆国見町職員クラブ、職員労働組合の皆さんから 二万七千二百円

◆藤田小学校児童会の皆さんから 五千六百八十二円

◆町東 佐藤正隆くんから 七千三十四円

◆歳末たすけあい募金

百八万三千円

実績額 百十七万七千二百四十八円

達成率 一〇二・二%

◆歳末たすけあい募金

目標額 百十九万七千八百四十円

実績額

百十九万七千八百四十円

実績額



町県民税
所得税
申告は忘れずに
申告期限は
3月16日

昭和六十一年分所得の、所得税確定申告と、町県民税の申告の時期となりました。
申告期限は、三月十六日(月)です。忘れずに申告してください。

申告相談の日程など、くわしくは後日お知らせしますが、今から申告の準備をし、正しい申告と納税にご協力願います。

ご存知ですか
福島県の最低賃金

福島県の最低賃金が左記のように改正されました。
この最低賃金は、県内の事業所で働くみなさんに適用されますので、使用者は労働者に対してこの最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。(最

低賃金法第五条

最低賃金	最低賃金	除外賃金
最低賃金(二時間四二円)	最低賃金(一日三八九円)	精算手当
		通勤手当
		家族手当

ただし、福島県産業別最低賃金の適用を受ける労働者については、産業別に決められている最低賃金を適用し、それ以外については福島県最低賃金が適用されます。
※最低賃金についてのご照会、ご相談は、
◎福島労働基準局賃金課
三四一—一一一
へご連絡ください。

お託びと訂正

前月号ページ「ふるさとを想ふ」の写真を訂正して「宿はずれの新茶屋」とあるのは「泉屋」の誤りでした。新茶屋は左の写真です。お託びして訂正いたします。



一月二十六日

文化財防火デー

文化財は、わたしたちの祖先が残した遺産、町民みんなで守りましょう。

届出による

日本国籍の取得について

国籍法及び戸籍法の一部改正法の施行により、左記に掲げる人は、期限内に届出することによって日本の国籍を取得できることになっていきますのでお知らせします。

こと。

◎届出ができる期間
昭和六十二年十二月三十一日までに限られています。

◎届出先
国籍を取得しようとする人の住所地を管轄する法務局または地方法務局及びその支局が届出先になります。

◎届出人
国籍を取得しようとする人
(一)十五歳以上のときは、本人
(二)十五歳未満のときは、親権者、後見人などの法定代理人。

(一)、(二)いずれの場合も、届出先に出頭して届け出なければなりません。
※なお、添付書類など詳しいことは、次の所におたずねください。
福島市霞町一四六
福島地方法務局 電話一三

一月一〇日は
「二一〇番の日」
です

交通事故、けんか、酔払い、暴力、不審者など、見たら聞いて一〇番で通報をお願いします。
昭和六十一年の場合、柔折警察署管内の地域の方々が一〇番で通報された総件数は二百二十

七件でした。

一〇番通報に対して警察は早く、親切に、そして保釈をモットーに対処しています。何かありましたら迷わず、いち早く一〇番で通報してください。
柔折警察署

老人保険法の
改正について

昭和六十二年一月一日から、老人保健法が改正されました。特に、自己負担金の額が次のようになりました。

改正前	改正後
外来 一ヶ月につき 一ヶ月につき	一ヶ月につき 一ヶ月につき
四〇〇円	八〇〇円
入院 一日につき 一日につき	三〇〇円
四〇〇円	四〇〇円

(二ヶ月を限度) (期限なし)

※ただし、次のような方は、従来どおりのままで医療を受けられます。
①市町村民税の非課税世帯であること。

②本人が老齢福祉年金を受給していること。
この二つの要件を満たす方は、役場保健課で申請の手続きを行ってください。

なお、詳しいことは、保健課までお問い合わせください。

善意の窓

町社会福祉協議会に

◆小柴実さん(大町南)から
二万円―故シモさんのご遺志

◆石川正博さん(第四)から
二万円―故フミさんのご遺志

◆滝川ヒロさん(耕谷)から
二万円―故長左エ門さんのご遺志

◆大木戸小学校から
五千六円―リンゴバザ―益金として

◆普明会教団福島支部から
五万円

◆明るい社会づくり運動福島県協議会福島支部支部長八巻一夫さんから
十万円

◆佐藤善郎さん(大町北)から
三万円―故ミヨさんのご遺志

◆佐藤をはるさん(貝田)から
二万円―故新二さんのご遺志

◆古内吉蔵さん(内谷東)から
一万円―故セキさんのご遺志

◆穴戸善雄さん(第一)から
二万円―故ミ子さんのご遺志

◆穴戸伊勢雄さん(町東)から
五万円―故忠雄さんのご遺志

藤田小学校に

◆佐藤善郎さん(大町北)から
二万円―故ミヨさんのご遺志

◆阿部ヒロさん(宮東)から
ぞうきん百枚

森江野小学校に

◆穴戸勝夫さん(第一)から
一万円―故康子さんのご遺志

◆寺島房吉さん(第四)から
郵便ポスト及びポストを設置するための材料、工事

◆森江野地区カラオケ発表会実行委員会から
二万円

森江野幼稚園に

◆穴戸勝夫さん(第一)から
一万円―故康子さんのご遺志

県北中学校に

◆佐藤善郎さん(大町北)から
二万円―故ミヨさんのご遺志

交通安全協会森江野部に

◆小池トクさん(第三)から
活動資金として金一封(今年で二年目)

戸籍の窓口

(12月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	部 落
伸人(のぶ)	高橋 実雄	田城上中館三根内七柳
かほり	八島 敏夫	貝高泉山崎小
ナナ	仲野 明夫	田田小
誠(まこと)	野高 和夫	第1第2
華(ゆかり)	藤水 直二	第1第2
樹(なつみ)	佐藤 正和	第1第2
文(あつみ)	鈴木 弘利	
愛(あま)	夫二	
美(みづ)	夫一	
織(おと)	夫二	

結婚おめでとうございます

氏 名	部 落
鈴木五郎	内町坂市七市根根北内
佐藤五郎	島方江
佐藤五郎	喜多山徳川
佐藤五郎	山徳川

おくやみ申し上げます

氏 名	年 齢	部 落
桜小石	54	寺南四坂谷田北二東
佐藤五郎	81	明町
佐藤五郎	82	大第小精貝大第内
佐藤五郎	83	町十谷
佐藤五郎	84	
佐藤五郎	73	
佐藤五郎	72	
佐藤五郎	58	
佐藤五郎	85	

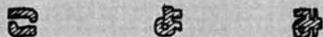
人口と世帯

1月1日現在(前月比)	12月中のうごき	61年中のうごき
男 5,803人 (-7)	転入 14人	転入 262人
女 6,200人 (+1)	転出 21人	転出 312人
口 計 12,003人 (-6)	出生 10人	出生 115人
世帯数 2,900戸 (-6)	死亡 9人	死亡 99人

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)
時間: 9時~12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。
[相談員]

1月24日(土)	樋口 弘・渋谷 愛子
2月5日(木)	菊地 平助・長谷川ケン
2月14日(土)	吉田 三夫・村上ミチ子



1月 睦月(むつき)	2月 如月(きさらぎ)
16日(金) やぶ入	3日(火) 節分
20日(火) 大寒	4日(水) 立春
26日(月) 文化財防火デー	11日(水) 建国記念の日
27日(火) 国旗制定記念日	14日(土) 聖バレンタインデー



生涯学習について

国見町教育長 蓬田 英夫



最近読みました雑誌の報告記事から、乳幼児精神医学の発達によって、胎生期より生後一〜三か月頃の新生児までもが、いままで思いもかけていないような認知能力や、母親との情緒交流を行なっている事実が、次第に明らかにされてきたこと。また、子供の心の発達について、新しい認識と所見が、次々にもたらされていることなど、心に関する科学的な教育の可能性を増大させていることを知り、驚きと共に、学ぶことの必要性を痛感いたしました。

このように、近年における科学技術の進歩は、目覚ましいものがあるばかりでなく、経済発展と社会構造の変化、余暇の増大、学習人口の拡大等がすすみましました。また、反面では生活規範の消失なども急激に進行

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

して、家庭教育、学校教育、成人教育というように、種別や段階に区分した教育体制では、充分に対応することが困難な時代となりました。このような情勢から学校を社会化し、社会を教育へ機能しながら、これらを統合して、人の生涯すべてにわたる教育を推進すること。即ち、生涯学習(教育)の充実を指向するようになりました。

生涯学習は、社会の変化に対する適応の学習であり生きがいある充実した生活を目指して、自由な意志にもとづき、自分にあった手段や方法によって、自己啓発に努めることであります。そして、県や自治体等が推進する生涯教育は、生涯にわたる自主的な学習活動を助長するために、各種の教育機能の関連を相互に調整しながら、学習の相談と情報の提供・学習機会の提供・学習に要する施設設備の提供という学ぶ人のために、条件の整備を図るはたらきであります。

当町では、公民館が中核となって、皆様の学習と活動の充実に向けて、条件整備に努力いたしておりますので、存分のご活用を期待いたします。

なお、生涯教育を推進する上での当面する課題は、多様な学習要求に対する指導者の不足にあります。甚だ勝手なお願いで恐縮ですが、文化・産業に限らず各分野で研究を続けておられる方、秀いでた技術、技能をおもちの方、地域の後輩に伝えるべきことを考えておられる方々に、是非とも地域の皆様の学習を深めるため、指導面でご尽力を賜わりたくお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、皆様のご協力に感謝いたしますとともに益々のご健勝を祈念申し上げます。

スキー教室の

お知らせ

- 期日 二月十五日(日)
- 会場 安達太良スキー場
- 時間 午前七時公民館出発
午後五時公民館到着
- 参加料 大人三千円(中学生以上) 小人二千円
- 定員 五十名
- 申し込み及び問い合わせ
町公民館(八五二二六七六)
締切り 二月十日迄
- ※定員になり次第締め切ります

新年あけまして
おめでとうございます
昭和62年 元旦

国見町公民館職員一同

たこ揚げ大会 大だこに挑戦

町の青年たちで結成しているボランティアグループ「サークルぼけっと」(遠藤豊和会長)は、縦三メートル横二メートルもある大だこを製作、一月十一日山崎運動場でたこ揚げを行いました。

この日は少年仲間づくり教室のためおあひ大会に合せ、サークルぼけっとが昨年十二月中旬から会長宅で大だこ作りに取りかかりました。

出来あがった大だこは竹の骨組で和紙を張り合わせた特大サイズ。

初めてあげる大だこに会員の



▲見事な大だこ

表情も真剣。たこを引きあげる

ひもはなんと工事用のビニール

ロープで、長さも百メートルあ

まり。準備も万全となり仲間づ

くり教室の小学生ら五十人が見

守るなか、会員たちが風の具合

を見て勢いよくロープを引くと

大だこはふわりと大空へ。しか

し、バランスが崩れ、わずかに

秒間浮かんだだけで地面に墜落、

竹組みも壊れてしまいました。

それでも会員たちは満足表情

で、見守っていた学級生らも大

喜びでした。

母と子の 公民館活動

十二月の母と子の公民館活動は、本の貸し出しとともに、手



▲紙芝居「りゅうになりそねたハブ」

作りの影絵、大型紙芝居などで

楽しいひとときをすごしました

。影絵は、指遊び、うちわは踊

子、青虫とちようちよなど、暗

い中にくっきり浮かぶ幻想的な

美しい色彩をたのしみました。

また紙芝居は、沖繩民話「り

ゅうになりそねたハブ」、心

やさしい貧乏な男が、或る日、

三千年の修業を積んで、やっと

今日童になれるその時をむかえ

たハブを見るときもなしに見て

しまったことからおこるゆかい

でおおらかな話。とかく味で

子どもの手にとられにくい良い

絵本を、指導者による手づくり

大型紙芝居により、紹介しまし

た。

阿津賀志学級 「冬の健康づくり」

阿津賀志学級では、冬期間に

於ける健康づくりのため、一月

九日、町教委の福島先生を講師

に迎え、高齢者が「いつでも」

「どこでも」「かんたん」にで

きる軽体操の実技研修を行いま

した。

昔を思い出し、伝承ゲームで

ある剣玉、バツタ、ビー玉、ペ

ーこま、お手玉、おはじき、あ

やとりなどにも取組み、お孫さ

し。

んとの対話などにも役立てたい
と楽しい学習をすることができ
ました。



▲軽体操に興ずる阿津賀志学級生

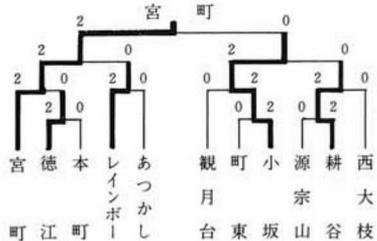


▲ソーレ・ソーレ・掛声も勇ましく(家庭バレーボール大会)

第三回町長杯争奪 家庭バレーボール大会

国見町公民館主催による町長杯争奪家庭バレーボール大会が十二月十四日(日)町体育館で行われ、熱戦が展開され、宮町クラブが優勝しました。成績は次のとおり。

優勝	宮町
準優勝	小坂
第三位	耕谷 レインボー





「あつかし荘」に

絵贈る

石原晃雲さん

錦町の「小さな画家の家」主催で、創彩会会員の日本画家石原晃雲さん（五七）は、十二月十一日、桑折町の特別養護老人ホーム「あつかし荘」に、自作の絵画三点を寄贈してくださいました。



▲贈られた大作と石原さん・渡部園長

もお年寄りたちの心がなごんでくれれば……と、「母と子」と題した三十号の大作をはじめ、「子供とアクシオン」（十号）「かくれんぼ」（色紙）の三点を渡部直人園長に手渡ししました。これらはさっそくロビーに展示され、お年寄りたちの目を楽しませていました。

大木戸小学校で

収穫祭

大木戸小学校では、十二月三日、青少年健全育成会大木戸地区役員十五人を招き、全校生で収穫祭を行いました。

勤労体験的学習の一環として、児童たちが作ったりんご、白菜、大根、ネギ、サトイモなどを、通学班ごとに分かれた十班でめいめいに献立をつくり、児童たちが料理しました。豚汁あり、けんちん汁ありと、児童たちは自分たちで作った料理に舌つづみをうっていました。りんごの収穫は今年で七年目を迎えますが、いも教会として行う収穫祭は二年目。また、この日はりんごのパザールを行い、益金五千六円は、町社会福祉協議会に寄付していただきました。ありがとうございました。



▲大木戸小学校生徒によるリンゴの収穫

交通講話会を開く

徳江南部実年会

「心豊かな健康な老人を目指して」昨年五月に発足した徳江南部実年会（会員六十三名）は、七月二十七日には郷土史研究家の菊池利雄さんを講師に招き、「徳江村の歴史」について、熱心に郷土の生い立ちを学び、先

人の足跡を偲びました。その後、八月五日の集中豪雨で大被害を受けた会員も多々見集えを見合わせるを得ませんでした。年内最後の会合として、十二月十六日午後一時から、桑折警察署の桑原交通部長を招き、「交通安全講話会」を開きました。

開会に先立ち、「シートベルトを着けよう」「交通事故の恐ろしさ」の映画を二本観て、交通事故の恐ろしさを改めて思い知らされました。

交通安全講話は、交通法の一部改正や身近な交通事故の実例などについて、予定の時間を過ぎるまで熱心に聞き入りました。特に、年末年始の時期を迎えるの講話会とあって、会員一同、事故防止を心に誓い合いました。



▲熱心に講話を聞く実年会会員

○新年あけましておめでとうございませう。希望に満ちた新年を迎えたいと思っております。この一年、町民の皆さんにとって良い年でありませうよう祈っております。

○今年の冬は暖冬といわれ、雪が少なく、スキー場などなかなかオープンできなかったようですが、寒波が到来し、スキーヤーにとって希望の雪がふり、スキー場のほうも一安心といったところです。

○一月九日、午後三時十五分に震度三の地震を感じました。数秒間だったのでしたが、とても長く感じられ、思わず宮城県沖地震のことが頭をよぎりました。九年前のことですが、災害は忘れたころにやってくるのとわざとありますので、日ごろの用心が大切だと感じました。○ところで、昨年暮れに流行したカゼが、ここに来て再流行のきざしをみせています。治療に長くかかるようなので、十分注意したいものです。

○最後になりましたが、今年もより見やすく、より読みやすい広報紙となるよう頑張りますので、広報「くにみ」をよろしくお願いたします。

編集日記